

# 体育科学習指導略案

6年2組 31名 指導者

西山修平  
基永恵

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 感染症を予防する方法について「見える図」を用いて分類、整理していくことは、感染症を予防するために大切なことを理解できるようにする手立てとして有効であったか。

## 1 単元 病気の予防

### 2 指導計画（総時数8時間）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
一次	1 病気の種類や原因について、自分の経験を振り返りながら課題を見付ける。 【思：かぜはいろいろな原因が重なり合って起こることに気付くことができる。】 【知：病気が起こる原因には、大きく四つあり、それらが関わり合って起こることが分かる。】	1
二次	2 感染症について知り、予防の仕方を考える。 【思：感染症を予防するために自分が気を付けていきたいことを考えることができる。】 【知：病原体がもとになって起こる病気の感染経路や予防方法が分かる。】	1 (本時)
三次	3・4 生活習慣が関係して起こる病気を理解し、予防の仕方を考える。 【思：生活習慣が、からだにどんな影響を与えているか、調べたり、考えたりすることができる。】 【知：生活習慣病の予防には、食事、運動、休養・睡眠が関係していることが分かる。】 【知：むし歯や歯周病を予防するには、口の中を清潔に保とうとする生活習慣を身につける必要があることが分かる。】	2
四次	5・6・7 喫煙・飲酒・薬物乱用が健康に及ぼす影響を理解し、勧められたときの断り方を話し合う。 【知：たばこの害を理解し、たばこを勧められたときの断り方が分かる。】 【知：飲酒の害を理解し、飲酒を勧められたときの断り方が分かる。】 【知：薬物の乱用の害を理解し、薬物を勧められたときの断り方が分かる。】	3
五次	8 地域の保健活動 【思：地域の保健活動を知り、自分の生活に生かそうとする。】	1

### 3 本時（2/8）

#### (1) 目標

感染症の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや、病原体に対する抵抗力を高めることが必要なことを理解できるようにする。

#### (2) 評価規準

- 感染症を予防していくために自分が取り組んでいきたいことを考えることができる。  
【健康・安全についての思考・判断】
- 感染症の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや、病原体に対する抵抗力を高めることが必要なことを理解することができる。  
【健康・安全についての知識・理解】

#### (3) 指導に当たって

つかむ・見通す過程では、前時の学習を想起させ、病気の起こり方を確認し、その中の病原体に着目できるようにする。また、養護教諭の立場からインフルエンザを例に挙げ、資料を示しながら病原体が原因となって起こる病気を感染症ということを知らせ、めあてを焦点化できるようにする。

深める過程では、感染症の予防の仕方についてブレインストーミングの技法を用いて多くの考えを出させる。そして、付箋紙を動かしながら「見える図」を用いて分類、整理をしていく。さらに分類ごとに名前を付けて予防の仕方を考えていく。また、グループごとに考えたことを全体の場で発表することで、共有化を図り、書いたり発表したりすることで考えの再構築を促したい。その際、養護教諭の専門性を生かして、担任と連携しながら課題を迫及していくことで、知識・理解をより深められるようにする。

振り返る過程では、感染症の予防には、病原体がからだに入るのを防ぐことや、病原体に対する抵抗力を高めることが必要なことを理解することができるようにし、これからの生活で自分が取り組んでいきたいことを自己決定できるようにする。

(4) 本時の展開 重点化するスキル [ ] 子どもの意識 ○指導の手立て ※評価

過程	時間	主な学習活動と指導の手立て
つかむ・見通す	7	1 病気の起こり方について前時の学習を想起する。 [ ・ 病気が起こる原因は大きく4つあったね。 ] [ ・ Xチャートにまとめたぞ。 ] 2 病原体について知る。 3 めあてを確認する [ 感染症を予防するためには、どうすればよいのだろうか。 ] 4 学習の進め方を確認する。 [ ・ 感染症の予防の仕方について、たくさんの考えを出したいな。 ] [ ・ 友達の考えも知りたいな。 ] [ ・ 前の時間にブレインストーミングは経験しているね。 ]
		5 グループで感染症の予防の仕方についてブレインストーミングを行う。 [ ・ 消毒すればよさそうだ。 ] [ ・ 手洗い、うがいが大切だよ。 ] [ ・ 体力づくりをすれば病原体に負けないかも。 ] [ ・ 家庭科で栄養のバランスに気を付けようと学習したね。 ] [ ・ 病気が流行している時期は、マスクをするよ。 ] 6 各グループで出された意見を集約し、発表できるように話し合う。 <b>分類する</b> [ ・ 集まった意見を分類してみよう。 ] [ ・ でき上がったグループに名前を付けよう。 ] [ ・ 予防の仕方が見えてきたね。 ] 7 各グループでまとめた病気の予防の仕方を発表する。 [ ・ 同じような意見があるぞ。 ] [ ・ 自分たちが気付かなかった予防の仕方がある。 ] 8 感染症の予防の仕方をまとめる。 [ 感染症を予防するためには、病原体がからだに入ることを防ぐことやからだの抵抗力を高めることが必要である ] [ ・ これからは、運動を頑張っって体の抵抗力を高めよう。 ] [ ・ 手洗いうがいをこれまで以上にしよう。 ]
深める	33	○ 前時に作成した「Xチャート」を提示して、病気が起こる原因について確認する。 ○ インフルエンザなど病原体がもとになって起こる病気を感染症ということを資料を示しながら説明する。 ○ 感染症を予防したいという子どもたちの思いからめあてを立てる。 ○ 前時の活動でも行った、ブレインストーミングの約束などを確認し、同様に進めていくことを説明する。 ○ ブレインストーミングの技法を用いて、生活経験で得た知識や聞いたことなどを、付箋にできるだけ多く書き出す。 ○ 集まった予防の仕方を分類したり、整理したりできるようにする。 ○ Yチャートにまとめていくことで予防の仕方を可視化できるようにする。 ○ 班毎に分類してつけた名前を短冊に書き、黒板上のYチャートを用いて更に分類し共有化を図る。 ※ 感染症の予防法を理解することができる。(発表・観察) [ ○ 理解が深まった子どもには、賞賛し、健康に生活しようとする意識を高めることができるようにする。 ] [ ○ 理解が深まらない子どもには、「見える図」を再度提示して視覚的に捉えられるようにする。 ]
振り返る	5	○ 本時の学習での活動や気づきを価値付けし、これからの生活に意欲的に生かせるようにする。 ○ 自分が決めたことを継続して取り組めるように励ます。

体育